

フランクタル心理学は人生運転メソッド — 受講生の感動ストーリー 4

「子育てに困ったら華子先生に聞け!」と言われている地元で人気講師の竹内華子さん。自分が自立を意識したこと、教室で教えるお母さんたちも自立し、県外からも講師として呼ばれるようになったというお話を。

脳育講座が県外に広がり開催数2倍・受講生3倍に

私が自立的な考え方になると、講座を受講するお母さんも、講師たちも自立し始めました。

■ まわりを信頼してプロとして認めるようになる

富山県は共稼ぎ率日本一で多くのお母さんたちが働いています。私自身も長男を育てながら作業療法士として専門学校で教員をし、長女が産まれる前に、母子支援の分野で起業しました。赤ちゃんの発達指導の教室を開催し、助産師や看護師など母子支援者向けの赤ちゃん発達セミナーの講師や、お母さんと子どもの脳育講座の講師をしてきました。起業して6年が過ぎた頃、知り合いからフランクタル心理学を勧められて、マスターコースと家族関係コースを受講しました。

赤ちゃん発達セミナーでは、私は助産師や看護師を教育する立場でしたので、つい、一方的に教えるだけになっていました。フランクタル心理学では「まわりは自分の深層意識で、相手を信頼することでお互いを生かしあえる」と学んだので、受講生は「助産師や看護師としてプロの専門知識を持った人たち」と認識を改め、信頼しようと決めました。そして彼女たちをセミナーの講師として育てようと考えるようになったのです。



赤ちゃんの発達指導の教室

■ お母さんたちを自立の方向に導けるように

私が大きく自分を方向転換させるきっかけとなったのは、家族関係コースで「愛とは自立を促すこと」と学んだことでした。

当時の私は、未来を担う子どもを育てているのだから誰かが手を貸してくれて当たり前、行政が動いてくれて当たり前と思い、支援が十分でないことに憤りを感じていました。口ではお母さんたちに「自立しましょう」と言いつつ、私自身が「子どもと一緒にいてあげるのが愛」だと思っていたので、教室に来るお母さんからは「保育所に預けるなんてかわいそう」「1年で職場復帰させる会社なんて鬼」という声を良く聞きました。母子支援のはずが、私という新たな依存先をつくっていたのです。

私が「愛=自立」と考え方をシフトさせると、保育園は「子どもの育つ環境として整っている」し、「子どもたちが得る刺激も格段に多い」「保育士さんも子育てのプロ」と、お母さんたちに話すようになりました。「預けることに罪悪感を持たなくて良い」「預けた方が子どもの能力が伸びる」「安心して預けて働いたらいい」とお母さんたちを勇気づけられるようになったのです。

本当の意味でお母さんたちを自立の方向に導けるようになると、みんな1年でさっさと職場に復帰し、「お陰でラクな

気持ちで働く」「子どもも順調に育っている」と行動や言動も変化はじめ、子どものことを心配せず、安心して働くようになりました。

私もお母さんたちも精神的に自立すると、「ない、ない」ではなく「できる、できる」と言うようになり、自分たちを取り巻く環境すら違って見えました。見つからないと思っていた保育園も見つかり、社会にはちゃんと支援があると思えるようになったのです。

親子育ちあい教室 ぽぽらんど主宰
作業療法士(子どもの発達専門)

竹内 華子さん

富山県在住

■ 脳育講座が県外にも広がっていく

さらに、フランクタル心理学の講座で誘導瞑想によって子どもの頃の体験を振り返るワークを受けると、自分がとんでもない考えをしていたことに驚かされました。

私は学校でも職場でも常にトップクラスでしたが、勉強ができる優秀であれば、すべてにおいてできていると勘違いをして、両親を見下していたとわかったのです。視野の狭い傲慢な私でしたが、両親からはとても愛されていました。

「今まで高慢ちきでごめんなさい」と両親、そして主人や付き合いのある人たちにも謝り、そんな私を支えてくれたことに心から感謝しました。

フランクタル心理学を学んで1年がたちました。私が相手を信頼し、自立的な考え方をし、傲慢な自分を変えていったことで、私の収入はフランクタル心理学の講座を受ける前の倍に増えました。それに合わせるかのように、私が支援してきたお母さんたちも、講師も、母子支援のプロの方々も自立していました。

それによって、赤ちゃんの発達指導ができる助産師や看護師は富山県にとどまらず、県外にまで育ち始めました。脳育講座は県内だけで開催していましたが、東京・山梨・金沢・関西・東北など、県外からも開催依頼を受けるようになったのです。講師や支援者が育ったことで、子育てをしながら、以前と同じくらいの活動量にもかかわらず、開催数が倍に増え、受講生は3倍に増えました。

これからは脳育講座の講師を養成して、子どもの発達やお母さんたちの成長、自立を促せるネットワークをさらに広げて笑顔で安心して共稼ぎができるお母さんたちをたくさん増やしていきたいと夢を膨らませています。

■竹内華子さんのブログ 親子育ちあい ぽぽらんど
<http://ameblo.jp/popoland-kurobe/>